

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 3 | 南郷区各地域の住民との交流が限られているので入所者の生活されてきた地域の住民との交流が出来ていない。 | 現在は渡川地区の各団体と協賛でおしゃべりサロンを年二回実施しているので、来年に向けて他の地域の各団体、行政とサロン実施に向けて話し合いを行っていく。 | 南郷区婦人連絡協議会、または各地区の婦人会の会議等に行政や社協、教育委員会の担当と一緒に参加する。まずは鬼神野地区のサロンの見学を行う。その後2地区と神話の里との合同サロンを実施し神話の里、社協、教育委員会それぞれの特徴を生かすため役割担当を決める。母体施設の相談員が高齢者の家族の方と認知症についての研修を行う。 | 5ヶ月 |
| 2 | 19 | ひとり暮らしや介護者が病気、遠いところに住んでいるなどで意外と家族の面会が少ない。 | 施設の三大行事への参加を身元引受人以外の親しい親戚にもお願いしていく。また、家族会を発足し年に一回利用者、職員と一緒に食事をするなどを計画する。 | 施設長に家族会について相談する。三大行事（敬老会、運動会、クリスマス）に案内を出す。また、施設便りや年賀状、暑中見舞い等のはがきを身元引受人以外にも出してみる。 | 2ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。